



巨岩「石の塔」の前でニッコリ

石の塔登山 (6月6日)

田代地域と青森県大鰐町の県境にそびえる「石の塔」で登山が行われ、参加者50人ほどが神々しくそびえ立つ巨岩に圧倒されながら、新緑の大自然を満喫しました。

巨岩「石の塔」は高さ24m、周囲74mで「石の塔を見ないうちは大きな話をしてはいけない」と言い伝えがあり、また、古くから眼の神様として信仰されています。

田代側登山口から登り始めて、山頂には約1時間半ほど掛けて到着。下山したあとは万国ホラ吹き大会に参加し、出場したホラ吹き名人の奇想天外な大ボウに、会場は終始大きな笑いに包まれていました。



隣の負けなわよ!

各地区で運動会 (6月14日)

絶好の晴天となったこの日、市内各地区で運動会が行われ、参加者は心地良い汗を流しました。

釈迦内地区では、釈迦内小学校のグラウンドを会場に地区の住民約千人が参加。トラックやフィールドでは、趣向を凝らしたさまざまなプログラムが行われ、子どもからお年寄りまで楽しく交流しました。

2人3脚リレーでは、息を合わせて見事に走り抜くチームや、足並みが乱れるチームが激しいデッドヒートを繰り広げ、応援席からは大きな声援が上がっていました。



心を込めて植えました

人権の花植栽式 (6月2日)

花の栽培を通じて、命の大切さや思いやりの気持ちを育む「人権の花」運動の植栽式が、釈迦内小学校で行われました。

この植栽式は、人権擁護委員や秋田地方法務局などで作る県北地域人権啓発ネットワーク協議会が主催して行っていて、式には5、6年生105人が参加しました。

澄み渡る青空となったグラウンドでは、校長先生が「思いやりの心で相手に接することが人権を守るということ。花も自分と同じくらい大事に育てよう」とあいさつ。子どもたちは、サルビアやペコニアなどの苗を丁寧に植え、大事に育てることを誓っていました。



旬のタケノコは美味しいよ

たけのこ祭り (6月7日)

23回目を迎えた「田代名産たけのこ祭り」が田代多目的運動広場で開かれ、タケノコ汁に舌鼓を打つ家族連れや観光客でにぎわいました。会場には朝早くからたくさんのかたが訪れ、生タケノコの販売が開始されると、テント前には長蛇の列が出来、用意されたタケノコはあっという間に完売するほどの売れゆきでした。

また、ステージでは、二人羽織でタケノコ汁を食べさせるタケノコ汁早食い競争が行われ、2人のタイミングが合わなかったり汁をこぼしたりして、アクシデントが起こるたびに、会場からは笑いと歓声が沸き起こっていました。